

# 日本発達心理学会「文化比較・行動比較」領域分科会 2005年度総会報告

2006年3月28日

## 1. 現在の会員数とニューズレターの発行部数（報告事項）

- (1) 会員数 56人
- (2) ニューズレター発行 現在第17号
- (3) 発行方法 郵送：5件 インターネット：51件 合計：56件

## 2. 2005年度活動報告（報告事項）

第17回研究会開催 「文化比較研究の展開—文化間変動と文化内変動」

日時： 2005年11月20日（日）13:30～16:30

場所： 東京女子大学 24号館 安井記念ホール 24201教室

●企画 画：唐澤真弓（東京女子大学）

●司 会：唐澤真弓（名古屋大学）

●話題提供者：

宮下孝広 白百合女子大学

「学業達成に対する自己の統制感における東京と山形の地域差と共通性」

向田久美子 清泉女学院大学

「10年後の将来像における日中比較」

永久ひさ子 文京学院大学

「女性における幸福感と動機の志向性の学歴差」

●コメンテーター 東 洋

## 3. 分科会の会費について

今年度から会費の徴収は行わないことを昨年分科会総会にて申し合わせたため、今後会費の徴収は行わない。

## 4. 第18回大会のラウンドテーブルまたは自主シンポジウムについて

## 5. 2006年度の活動計画

- (1) 第17回大会に向けてのプレセミナーを開催

田島先生が企画することとなった。

- (2) 若手研究者による小研究会の開催

## 6. 2006年度代表幹事選出

2006年4月～2007年3月までの代表幹事は田島信玄先生とする。

参考資料：

2005年4月～2006年3月

顧問：東 洋・古澤 頼雄

会長・事務局幹事：塘 利枝子

代表幹事：唐澤 真弓

幹事：田島 信元・莊巖 舜哉・南 徹弘・臼井 博・氏家 達夫・上村 佳世子・柴山 真琴

なお、代表幹事の任期は2005年4月～2006年3月とする。但し再任を妨げない。